

HYPERLINK関数

使い方マスターガイド



※当ガイドに従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。

HYPERLINK関数の基本をおさらい

HYPERLINK関数の基本をおさらい

HYPERLINK関数は、クリック可能なリンクをセル内に作成する関数です。まずは、2つの引数（ひきすう）の役割をしっかりとおさらいしましょう。

=HYPERLINK(リンク先, [別名])

引数	内容
① リンク先	必須。ジャンプしたい場所（URL、セル番地、ファイルパスなど）をダブルクォーテーション (") で囲んで指定します。
② 別名	省略可能。セルに実際に表示される文字列を指定します。省略した場合は、「リンク先」の文字列がそのまま表示されます。

 **例:** =HYPERLINK("https://www.google.co.jp/", "Googleを開く")

→ セルには「Googleを開く」と表示され、クリックすると Googleが開きます。

【実践①】 Excelファイル内に「目次」を作る

【実践①】 Excelファイル内に「目次」を作る

ブック内の別シートや特定セルにジャンプするリンクを作成できます。シート数が多いファイルの「目次」作成に最適です。

リンク先の種類	「リンク先」の書き方（"""で囲む）
別シート（例: シート名「詳細」）	"#詳細!A1"（「詳細」シートのA1セルへジャンプ）
同じシート内（例: セルZ100）	"#Z100"（同じシートのZ100セルへジャンプ）



ポイント： "#" (シャープ) を使って、Excelブック内であることを示します。

【実践②】 PC内のフォルダやファイルを開く

【実践②】 PC内のフォルダやファイルを開く

Webサイトだけでなく、PCのローカルフォルダや、サーバー上の共有フォルダ、特定のファイル（PDFやWordなど）へのリンクも作成できます。

リンク先の種類	「リンク先」の書き方（""で囲む）
フォルダを開く	"C:\Work\Data\"（Dataフォルダを開く）
ファイルを開く	"C:\Work\Data\請求書.pdf"（請求書.pdfを開く）



ポイント :file:/// は省略可能です。そのままファイルパスを記載します。

【実践③】

他の関数と組み合わせて「神」機能にする

【実践③】他の関数と組み合わせて「神」機能にする

HYPERLINK関数は、他の関数と組み合わせるデータの検索結果に基づいた動的なリンクを作成し、その真価を発揮します。

組み合わせ	内容と数式例
VLOOKUP + HYPERLINK	【目的】VLOOKUPで「リンク先URL」を取得する 例：A2セルの社員番号で「社員マスタ」を検索し、B列に保存されている「顔写真URL」へのリンクを作成したい。 =HYPERLINK(VLOOKUP(A2, 社員マスタ!A:B, 2, FALSE), "顔写真")
VLOOKUP + HYPERLINK (メール連携)	【目的】VLOOKUPで「メールアドレス」を取得し、メール作成画面を開く 例：A2セルの顧客名で「顧客マスタ」を検索し、C列の「メアド」宛てのメールを作成したい。 =HYPERLINK("mailto:" & VLOOKUP(A2, 顧客マスタ!A:C, 3, FALSE), "メール送信")
INDIRECT + HYPERLINK	【目的】INDIRECTで「動的なジャンプ先」を作る 例：A1セルに入力したセル番地（例: "Z100"）にジャンプしたい。 =HYPERLINK("#" & INDIRECT("A1"), "指定セルへジャンプ")

【免責】

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。

※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。また当資料は、公開日時点の内容となっております。最新の情報、実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。